



2020年3月16日

各 位

会 社 名 日本ドライケミカル株式会社
代表者名 代表取締役社長 遠山 榮一
(コード番号：1909 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 亀井 正文
TEL. 03-5815-5050

韓国における事業会社の子会社化に関するお知らせ

当社は、2020年3月16日開催の臨時取締役会において、韓国企業である Masteco Industry Co., Ltd. (以下、「Masteco 社」といいます。) を子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、Masteco 社の子会社化に伴い、同社の子会社である Korea High Pressure Cylinder Co. Ltd (以下、「KHPC 社」といいます。) が当社の孫会社となりますこともお知らせいたします。

1. 子会社化の理由

当社は、総合防災企業として各種防災設備の設計・施工・保守点検、消火器及び消火設備、消防自動車、自動火災報知設備の製造・販売、防災用品の仕入・販売等、幅広く防災にかかわる事業を展開しております。

当社は、製品及びサービスの差別化を最も重要な成長戦略と掲げており、業務提携先企業とのアライアンス強化をはじめ積極的なM&Aも推進しております。

韓国の消防機器メーカーである Masteco 社は、多種多様な消火設備用機器・製品を取り扱っており、韓国国内をはじめ、諸外国へ製品を輸出供給しております。

Masteco 社の高い技術力により開発された製品は、品質面およびコスト面において高い競争力を有しており、同社は、当社の重要な調達先であり、かつ事業上のパートナーとして関係を強化しております。

当社は、Masteco 社と当社向け製品の開発・生産を拡大し更なる関係強化を進めるなかで、同社代表理事であり、筆頭株主である Juhwan Oh 氏が、当社と共に成長戦略の実現を目指すことを可能とするため、同氏による同社資本構成の再編（ファンド2社から株式取得及び Masteco 社発行の新株予約権付社債償還を含む）を資金面から全面的に支援することといたしました。

詳細は4頁の「(参考) 貸付資金の概要」をご参照ください。

このような背景から、Juhwan Oh 氏は、当社と同一の内容の議決権を行使すると認められる緊密者にあたりと判断いたしました。

2020年3月3日付で、緊密者である Juhwan Oh 氏は、当社の貸付資金により Masteco 社の株式 2,500,000 株（持分比率 24.83%）及び普通株への未転換株式 4,266,666 株を同社の大株主であるファンド2社から取得したことにより、同氏の議決権所有割合は 51.66%となりました。

当社と同氏の議決権所有割合を合わせると過半数を超えるため、当社は、2020年3月16日開催の臨時取締役会において、Masteco 社を子会社化することについて決議いたしました。

当社は、Masteco 社の子会社化を通じて、より高品質な機器・製品のラインナップ、より差別化された機器・製品の開発を進めることにより、競争力を高めることで、企業価値の向上を目指してまいります。